

「こども計画対象事業」主な指標について

資料 2

No.	I	II	III	IV	事業名	事業内容	担当課	指標名	単位	方向性	単年・ 累計	基準年	基準値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値	R10年度 目標値	R11年度 目標値
10	2①② 3①	2②		2②	体験学習事業	家庭や学校では経験できない生活体験・自然体験を通して、自主性・創造性などの豊かな人間性を育むとともに、目まぐるしく変化する現代社会において、時代を生き抜く力と時代に共感する力を育む機会とする。	青少年課	アンケート調査で、体験学習に参加して「成長した」と回答とした割合	%	増	単年	令和6年度	60	70	80	85	90	90
21	2①				城下町おだわらツアーデーマーチ開催事業	西さがみの魅力を発信する同ウォーキング大会への小・中学生及び未就学児の参加を促すことで、子どものウォーキングを促進する。	スポーツ課	城下町おだわらツアーデーマーチ、未就学児、小中高生参加数	人	維持	単年	令和6年度	321	321	321	321	321	321
29	2①	2②			学校等アウトリーチ事業	次世代を担う子どもたちの豊かな情操を育て、創造力や感性を刺激するため、市内公立小中学校等を対象にアウトリーチ事業を開催し、本物の芸術に触れる機会を設け、文化の裾野を広げていく。	文化政策課	児童の満足度（5点満点）	点	維持	単年	令和6年度	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
58	5①				生活保護制度による支援	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて、生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭の8種類の扶助費を支給する。	生活支援課	生活保護利用世帯数やそのうちの母子世帯数等を把握することはできるが、その増減を目標値とすることは事業の目的にそぐわない。										
94		1②			通常保育事業	保護者の就労等で家庭で保育することができない児童を保育所で預かり、保育を行う。配置基準を満たす保育士を確保し、保育の質の向上に努めるとともに、個々の保育所の定員の弾力化や拡充により待機児童の解消を図る。	保育課	待機児童数	人	減	単年	令和7年度	4	—	4	2	0	0